



2025年12月11日

各 位

会社名 ジーイエット株式会社
代表者名 代表取締役社長 石野 孝司
(コード番号 7603 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理統括本部長 小林 大介
(TEL : 03-3316-1911)

第10回及び第11回新株予約権（行使価額修正条項付）の買入れ及び消却ならびに 調達資金の使途変更に関するお知らせ

ジーイエット株式会社（以下「当社」といいます。）は、2025年12月11日開催の取締役会において、当社が発行した第10回及び第11回新株予約権につきまして、未行使となっている新株予約権の全部を、下記の条件で買入れ、その後直ちに全部を消却することならびに調達資金の使途変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 新株予約権の取得及び消却について

1. 取得及び消却する新株予約権の内容

（1）（参考）第9回新株予約権

| 項目 | 内容 |
|------------------|------------------------------------|
| 新株予約権の名称 | 株式会社マックハウス 第9回新株予約権 (行使価額修正条項付) |
| 発行日 | 2025年3月3日 |
| 発行総数 | 70,000個 |
| 本日現在までの行使済新株予約権数 | 70,000個 |
| 本日現在までの未行使新株予約権数 | 0個 |
| 取得及び消却の対象 | なし（全量行使済み） |

注）第9回新株予約権は2025年6月19日に全量行使され、資金調達が完了しており、買入れ及び消却の対象外です。参考として記載いたしました。

(2) 第10回新株予約権

| 項目 | 内容 |
|------------------|-------------------------------------|
| 新株予約権の名称 | 株式会社マックハウス 第10回新株予約権 (行使価額修正条項付) |
| 発行日 | 2025年3月3日 |
| 発行総数 | 30,000個 |
| 本日現在までの行使済新株予約権数 | 0個 |
| 本日現在までの未行使新株予約権数 | 30,000個 |
| 買入日 | 2025年12月26日（予定） |
| 買入個数 | 30,000個 |
| 買入価格 | 1個につき44円 |
| 買入総額 | 1,320,000円 |
| 消却日 | 2025年12月29日（予定） |
| 消却後に残存する新株予約権の数 | 0個 |

(3) 第11回新株予約権

| 項目 | 内容 |
|------------------|-------------------------------------|
| 新株予約権の名称 | ジーイエット株式会社 第11回新株予約権 (行使価額修正条項付) |
| 発行日 | 2025年8月22日 |
| 発行総数 | 54,000個 |
| 本日現在までの行使済新株予約権数 | 31,500個 |
| 本日現在までの未行使新株予約権数 | 22,500個 |
| 買入日 | 2025年12月26日（予定） |
| 買入個数 | 22,500個 |
| 買入価格 | 1個につき25円 |
| 買入総額 | 562,500円 |
| 消却日 | 2025年12月29日（予定） |
| 消却後に残存する新株予約権の数 | 0個 |

2. 買入れ及び消却理由

本新株予約権については、現在の株価水準と行使価額との乖離が継続している状況を踏まえると、今後行使が行われる可能性は限定的であり、資金調達手段としての実効性が失われていると判断いたしました。

また、調達手段として機能しない新株予約権を残存させることは、当社の資本政策の明確性や株価形成の透明性の観点から適切ではないと考え、割当先との合意のもと、買入れにより取得し、消却することといたしました。

これにより本新株予約権に係る潜在株式は消滅いたします。

3. 今後の見通し

本件取得及び消却が当期業績に与える影響は軽微であります。今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

II. 調達資金の使途変更

1. 変更の理由

当社は、過去に実施した第三者割当による第9回・第10回・第11回新株予約権の発行により調達した資金の使途につきまして、今後の事業展開及び資金需要の見直しを踏まえ、調達資金の配分をより適切な内容に再構成することといたしました。

具体的には、既存事業の再構築、暗号資産（ビットコイン）を活用した財務戦略、ならびにM&Aを含む事業領域拡大を推進する中で、以下の資金需要があらためて確認されたことから、既に調達した資金の使途を重点領域に合わせて再配分することが必要であると判断いたしました。

- ① 暗号資産（BTC）取得に係る資金需要の拡大
- ② M&A手続に必要となる資金、及び買収後の事業運営に必要となる資金（運転資金を含む）

2. 変更の箇所

変更箇所には下線を付しております。

（1）第9回・第10回新株予約権に係る資金使途

（変更前）

| 具体的な使途 | 想定調達額 | 支出予定期 |
|-------------------------------|------------|-------------------|
| ① 新規事業の開発 (M&A・新規企業への投資) | 300（百万円） | 2025年3月～2028年2月 |
| ② 設備投資 (顧客管理システム・ECサイト刷新等) | 60（百万円） | 2025年3月～2028年2月 |
| ③ 借入金の返済 | 900（百万円） | 2025年3月～2027年8月 |
| ④ ビットコイン、暗号資産購入資金 | 800（百万円） | 決定後速やかに、または段階的に実施 |
| 合計 | 2,060（百万円） | |

（変更後）

| 具体的な使途 | 調達実績 | 支出時期 |
|-------------------|------------|------------------|
| ① ビットコイン・暗号資産購入資金 | 1,700（百万円） | 実行完了 |
| （内訳） 当初予定分 | 800（百万円） | 実行完了 |
| （内訳） 超過調達分 | 900（百万円） | 実行完了 |
| ② 借入金の返済 | 690（百万円） | 2025年12月～2028年2月 |
| 合計 | 2,390（百万円） | |

注1) 第9回新株予約権は2025年6月19日に資金調達が完了しました。平均行使価格は当初予定の210.9円から341.6円に上昇し、当初予定の1,476百万円を上回る2,390百万円の資金調達を実現いたしました。

注2) 第9回新株予約権による調達実績は2,390百万円であり、当初予定の1,476百万円を914百万円上回りました。この超過調達分914百万円のうち900百万円をビットコイン・暗号資産購入に充当いたしました。一方、第10回新株予約権については、本日現在、資金調達が実現していなかったため（想定調達額約600百万円）、当該資金を確保することができず、これに伴い第10回で予定していた借入金返済資金900百万円については、第9回の調達資金から690百万円のみを充当し、残額については第11回新株予約権による調達資金を充当いたします。なお、第10回で当初予定していた新規事業開発資金300百万円及び設備投資60百万円については、現下の優先事業との整合性を踏まえ、当面は調達資金をビットコイン・暗号資産購入および新規事業開発に優先的に配分することといたしました。なお、これらの資金については、今後の事業展開に応じて、別途資金調達を検討いたします。

(2) 第11回新株予約権に係る資金使途

(変更前)

| 具体的な使途 | 想定調達額 | 支出予定期 |
|-------------------|-------------|------------------|
| ① ビットコイン・暗号資産購入資金 | 1,300 (百万円) | 2025年9月～2026年8月 |
| ② マイニング事業への投資資金 | 1,050 (百万円) | 2025年11月～2026年8月 |
| 合計 | 2,350 (百万円) | |

(変更後)

| 具体的な使途 | 調達実績 | 支出予定期 |
|-----------------------------|-------------|------------------|
| ① ビットコイン・暗号資産購入資金 | 400 (百万円) | 2025年12月～2026年8月 |
| (内訳) 購入済分 | 100 (百万円) | 2025年11月完了 |
| (内訳) 購入予定 | 300 (百万円) | 2025年12月～2026年8月 |
| ② マイニング事業への投資資金 | 330 (百万円) | 2025年12月～2026年8月 |
| ③ 新規事業の開発 (M&A・新規企業への投資) | 300 (百万円) | 2025年12月～2026年8月 |
| ④ 借入金の返済 | 210 (百万円) | 2025年3月～2027年8月 |
| 合計 | 1,240 (百万円) | |

注1) 第11回新株予約権の調達実績は1,240百万円です。発行総数54,000個のうち、31,500個が行使され資金化されており、今回は未行使の22,500個を買入れ及び消却いたします。

注2) 第11回新株予約権による調達資金の使途につきましては、調達資金の再配分を行うと同時に、第10回新株予約権の使途予定であった新規事業の開発資金300百万円を、第11回分に組み入れました。さらに、借入金返済につきましても、第9回で充当し得なかった残額210百万円を第11回から充当することといたしました。

3. 業績への影響

本新株予約権の買入れ及び消却ならびに資金使途の変更が当期業績に与える影響は軽微であります。

ただし、ビットコイン・暗号資産への投資につきましては、暗号資産の価格は非常に変動が大きく、投資元本を毀損するリスク、流動性リスク、サイバーセキュリティリスク、法規制の変更リスクなどが存在します。当社は、これらのリスクを十分に認識し、市場動向を慎重に見極めながら、専門知識を有する外部アドバイザーの協力を得ながら、厳格なリスク管理体制の下で投資を進めてまいります。

重要な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以上